

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
低所得者に対する支援と生活保護制度 Support and public assistance system to low-income		2年	前期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会保障論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉・障害者福祉・母子福祉関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟2F	月・木・金9:00～17:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
生活保護を中心とする公的扶助は、憲法25条による国民の「生存権」を保障するものとして存在する。生活保護等公的扶助制度には、一定の原理・原則がある。制度の意味と現状を学習し、生活保護の運用も含めてその在り方について学習する。また、貧困予防としての低所得者支援対策についても学習する。				
授業の到達目標				
①生活保護等公的扶助の歴史と発展、社会的背景及び原理・原則・運用・今日的課題等を理解できるようになる。 ②社会経済情勢の変化と生活保護制度、ホームレスの自立支援などについて理解できるようにする。 ③生活資金の貸付け等低所得者支援について理解できるようにする。				
授業の方法				
テキスト及び視聴覚教材を活用して講義を中心に進める。				
学習の成果				
①生存権と生活保護制度の関係を理解することができる。 ②最低生活費の基準について理解することができる。 ③貧困の背景及び要因について理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方・留意事項・成績評価等)			
第2回目	公的扶助 (生活保護) の概念と歴史について			
第3回目	資本主義の発達と社会保障制度及び公的扶助制度について			
第4回目	現代社会における公的扶助の役割と意義・機能について			
第5回目	生活保護制度の現状① 生活保護の動向と変化及び対応について			
第6回目	生活保護制度の現状② 生活保護制度の原理と原則及び運用について			

第7回目	生活保護制度の現状③ 制度の内容と保護の種類 (1) について	
第8回目	生活保護制度の現状④ 制度の内容と保護の種類 (2) について レポート作成「生活保護制度の現状と課題」	
第9回目	生活保護制度の運営及び実施体制 (福祉事務所) について	
第10回目	生活保護と社会福祉サービスとの関連について	
第11回目	低所得者対策と自立支援について	
第12回目	生活保護と社会福祉サービス・ソーシャルワークの実践について	
第13回目	ホームレス (路上生活者) と生活保護について	
第14回目	生活保護制度の課題について	
第15回目	まとめ～現代の貧困と生活保護及び低所得対策の課題～ 定期試験	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	授業態度、出席状況等により総合的に判断する。
レポート	10%	第1回～第8回までの授業内容に関するレポート作成とする。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	70%	論文 (記述式) とする。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「低所得者に対する支援と生活保護制度」社会福祉士養成講座・中央法規 参考書・参考資料：授業の都度指示、資料を配布		
履修上の心得・ルール		
新聞等により生活保護の動向、ホームレス (路上生活者) の動向を把握しておくこと。		